

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）

事業者名：ケアプラン紫陽花

※実施内容については、要綱別紙2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を網羅すること。

研修カリキュラム（要綱別紙1）		実施計画				
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数				実施内容
1 職務の理解	6 時間	1 職務の理解	時間数	うち通学	うち通信	1 職務の理解
(1) 多様なサービスの理解		(1) 多様なサービスの理解	3	3		(1) 介護保険サービス(居宅・施設)介護保険外サービス ○居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 介護職員の仕事内容や働く現場の理解	3	3		○居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的イメージ(視聴覚教材の活用、現場職員の体験談、サービス事業所における) ○ケアプランの位置付けに始まるサービス提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・多職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援	時間数	うち通学	うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援
(1) 人権と尊厳を支える介護		(1) 人権と尊厳を支える介護	6	6		(1) 人権と尊厳の保持 ○個人としての尊重、○アドボカシー、○エンパワメントの視点 ○「役割」の実感、○尊厳のある暮らし、○利用者のプライバシーの保護 (2) ICF→3章3節及び2巻参照 ○介護分野におけるICF (3) QOL ○QOLの考え方、○生活の質 (4) ノーマライゼーション ○ノーマライゼーションの考え方 (5) 虐待防止・身体拘束禁止 ○身体拘束禁止、○高齢者虐待防止法、○高齢者の養護者支援 (6) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法、○成年後見制度、○日常生活自立支援

(2) 自立に向けた介護	(2) 自立に向けた介護	3	3	(2)
3 介護の基本 6時間	3 介護の基本	時間数	うち通学 うち通信	3 介護の基本
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	(1)	1	1	(1)
(2) 介護職の職業倫理	(2)	2	2	(2)
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	(3)	1	1	(3)
(4) 介護職の安全	(4)	2	2	(4)

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	時間数	うち通学	うち通信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
(1) 介護保険制度	(1)	3	3	3	(1)
(2) 医療との連携とリハビリテーション	(2)	3	3	3	(2)
(3) 障害者総合支援制度及びその他制度	(3)	3	3	3	(3)
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術	時間数	うち通学	うち通信	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 介護におけるコミュニケーション	(1)	3	3	3	(1)
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	(2)	3	3	3	(2)
6 老化の理解 6時間	6 老化の理解	時間数	うち通学	うち通信	6 老化の理解
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	(1)	3	3	3	(1)
(2) 高齢者と健康	(2)	3	3	3	(2)
7 認知症の理解 6時間	7 認知症の理解	時間数	うち通学	うち通信	7 認知症の理解
(1) 認知症を取り巻く状況	(1)	1	1	1	(1)
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	(2)	2	2	2	(2)
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	(3)	1	1	1	(3)
(4) 家族への支援	(4)	2	2	2	(4)

8 障がいの理解 3時間		時間数	うち通 学	うち通 信	8 障害の理解
(1) 障害の基礎的理解		1	1		(1)
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識		1	1		(2)
(3) 家族の心理、かかり支援の理解		1	1		(3)
9 ころとからだのしくみと生活支援技1 75時間				9 ころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習 10~13時間		時間数	うち通 学	うち通 信	ア 基本知識の学習
(1) 介護の基本的な考え方		3	3		(1)
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解		4	4		(2)
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解		3	3		(3)
イ 生活支援技術の講義・演習 50~55時間		時間数	うち通 学	うち通 信	イ 生活支援技術の講義・演習
(4) 生活と家事		4	4		(4)
(5) 快適な居住環境整備と介護		4	4		(5)
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		7	7		(6)
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		7	7		(7)
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		4	4		(8)

第1-2号様式

(9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(9)	7	7	(9)
(10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(10)	7	7	(10)
(11)睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(11)	7	7	(11)
(12)死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	(12)	7	7	(12)
ウ 生活支援技術演習 10~12時間	ウ 生活支援技術演習	時間数	うち通信	ウ 生活支援技術演習
(13)介護過程の基礎的理解	(13)	4.5	4.5	(13)
(14)総合生活支援技術演習	(14)	7.5	7.5	(14)
10 振り返り 4時間	10 振り返り	時間数	うち通学 うち通信	10 振り返り
(1)振り返り	(1)	2	2	(1)
(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	(2)	2	2	(2)
追加カリキュラム				
計 (130時間)	計 (時間)			

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。（別紙でも可）
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。